

銀座4丁目交差点 右:三越 左:和光



写真・文 七海邦夫

東京江戸散歩 その参 ー銀座①ー

慶長十七年(1617)家康は駿府の銀座を江戸に移し、役所を置いて銀貨の鑄造に当たさせた。この時職人の為に開かれたのが新両替町一丁四丁目、通称を銀座一丁四丁目と言った。今の五丁目から新橋にかけては尾張町、竹川町、出雲町、加賀町と続いていた。家康は將軍になると同時に、諸大名に命じて江戸城前面の海岸の埋め立て工事をを行った。錦町から柳原にかけての神田山を崩し、その土を運んで作らせたのが浜町から銀座、新橋、築地にかけての土地である。全国の大名七十家が千石に一人の割合で人夫を出したので、これを「千石夫」というが、尾張町

や出雲町の町名は、この時動員されて工事を担当した人夫の出身国にちなんでいる。潮が満ち引きする葦原はこうして埋め立てられ、1区画六十間(108m)四方に町割されて商家が軒を並べるようになった。さて明治五年の丸の内・銀座の大火の後、東京府知事由利公正は銀座を文明開化の発信地にしようとした。イギリス人技師の指導で煉瓦街造りに着手した。道幅を十五間(27m)に広げて歩道をつけ、85基のガス灯を立て、松梅、柳、イチョウなどを植えて並木とし、更に銀座馬車まで走らせた。銀座一丁目みずほ銀行脇に銀座の柳由来碑がある。

銀座の中心地は四丁目。交差点には三越、和光、三愛、日産自動車などが向き合っている。晴海通りを築地方面に行くとき歌舞伎座がある。「忠臣蔵」で浅野内匠頭切腹後、大石内蔵助が幕府に跡目相続を願った内匠頭の弟、浅野大学の屋敷跡。六丁目松坂屋の前には、後に東京商科大学から

ら一橋大学となった大学発祥の地を記念したものの。明治八年文部大臣森有礼の創設である。(続)

編集委員会より
お願いです
「あおい通信」は、皆様からの原稿を募集致しております。担当飯島迄お申し出下さい。

「十一月一日は僕の誕生日だよ!」
五才になった葵は、走りながら笑顔で叫ぶ。

シナリオ風の書き出しだとかこんな感じかしら? 私が「リハビリテーションデイサービス葵」を勝手に男の子にして女性陣からは叱られそうですが、今の葵はこんなイメージです。その舞台設定はかなり複雑で、「誕生日」の直前十月二十八日には世界経済が歴史的縮小を記録、日経平均株価は何と7千円を割り込んでしま

そして、メインステージである医療と福祉の世界はどうでしょう。少子高齢社会の先頭を行く日本は、世界の先進諸国から注目を浴びつつ壮大な「実験」を展開中なのです。(勿論悪い意味で!) 驚異的速度で進行する高齢化と少子化が目の前にあるにも拘らず、医療と福祉の予算はマイナスシリング。毎年の様に

「減らせ、もっと削れ」というのが表の厚生労働省と裏の財務省「連合艦隊」の現実です。毎年二千億円も減らし続けたらどうなるか? 古今東西、健康と長寿を求める気持ちは普遍のはず。日本の容赦ない「実験」は世界の人々に何を見せようというのでしょうか? 石ころだらけで、茨が密生した様な舞台の上ですが、「葵君」は五年目も走り続けます。苦しい顔は見せたくないから明るく言います:「心と身体のリハビリで元気な笑顔を!」と。

世評・時評

「甘いもの」は「太る」と敬遠されるが、体内では重要な役割を担っている。先ず砂糖の働きから。紀元前の古代インドで最初に作られたとされる砂糖の語源はサンスクリット語でサトウキビを意味する「Sarkara」(サルカラ)。「日本では奈良時代に中国から伝わったというが、庶民に行き渡るようになったのは明治期のことだ。

糖質を体内でエネルギーにするには分子1個ずつに分解する必要があります。砂糖はブドウ糖と果糖が1個ずつ結合しただけなので、食べると数十秒で分解され血管を通じて全身に運ばれる。これに対してデンプンは、何万個もの分子が結合しており分解するのに時間が掛かるといいます。砂糖が分解して出来るブドウ糖は脳の唯一のエネルギー源。筋肉や他の臓器は脂肪や蛋白質もエネルギーとして使い、余ったブドウ糖は肝臓などに蓄えられるが、脳には殆ど蓄えられない。「生命維持や記憶など高度な役割を担い、どの臓器よりも多くのエネルギーが必要」と脳にとって砂糖は即座に役立つ優れもの」と野村さん。受験勉強や仕事で疲れには、一粒のチョコレートが、脳を直ぐに活性化させてくれるという。(甘ちゃん)

利用者さんの紹介コーナー

波多野 真子

葵に通所し始めて毎日楽しく過ごしています。休みの日は、息子の運転でドライブに行くのが楽しみです。



岡 と志

お世話になって一年八カ月になります。葵にはリハビリの器具が色々あり、今は歩くことも出来るようになりました。



内山 歌子

お世話になって一年半、葵での時は楽しく過ごすごことができ、人の輪も広くなりました。職員の方の導きも有難く思っています。



島口 和子

お世話になって早一年半、体操と習い事に楽しく過ごし、元気を頂いて

ます。皆さんの親切に感謝しています、どうぞ宜しくお願いします。



松倉 哲夫

一年余りお世話になっております。お陰さまで筋力も回復し、日常生活が楽になりました。宜しくお願いします。



石田 弘

リハビリを続けて頑張る、もう少し早く歩けるようになりたいと思っています。



横内 敬司

葵にお世話になって一年になり、職員の皆さんの親切に感謝しております。これからも筋力体操に頑張りたいと思います。



随想 心の輝き

横川 喜久子

「あのころ、今、これから」、「忘れないで季節のしきたり日本の心」、「毎日がいきいきすこやか」等の絵本を御存じでしょうか？数年前ふとした事から或る御高齢の婦人と知り合いました。お忙しかった御主人が病に伏せられた時は、御希望通りの治療で最後迄自宅で見守られ、心残りなく見送られたと伺い、私の思いと同じお方なのだと思えました。よく二人でレストランに御一緒し、人生、老後、そして昔の事やその時代に

を楽しく忌憚なくお話をしていました。どの様な方か知らずに居りましたが、私が渋沢栄一翁のお孫さんと知ったのは此の本を読んでの事でした。その絵の何とも云えぬ温かさに心を打たれ、彼女に告げました。処「私の絵は素人です。主人が床に伏して外出出来ぬ時、残りの障子紙に外の様子を画いて自宅に二人で楽しく話し合ったものなのです」と、ああやはりと思えました。鮫島純子さんは、祖父が人の為に尽くした事やその思いを、残った自分が受け継ぎ少しでもお役に立てればと外国でも日本でも講演されたりしています。

満開の櫻の時期に、私は一人で飛鳥山の渋沢栄一史料館を訪れ翁の偉業を偲びました。広いお庭の横に空襲の焼失を免れた晩香廬。洋館の青淵文庫、そして本館の本棚にあつた古い写真の中に幼少の純子さんを見て微笑みました。彼女の『八十歳を過ぎて新しく絵本を出版し日本の心、経験、子供の躰を素直に伝え、老人として生き生き成長して行く心の持ち方』を身近に感じ勇気づけられ感銘をうけました。私も彼女の様に「愛」と「感謝」そして「今日一日また光輝いて生きていきます」の誓いに努めて行く積もりです。

風物詩

京都時代祭

佐藤 八重子

既に、京都の三天祭の葵祭、祇園祭をご紹介しましたが、最後の一つが十月二十二日の時代祭です。京都を都と定めた桓武天皇が平安京に入られた日を記念し明治二十八年に始まった行事で、京都御所と平安神宮の二カ所に亘って行われます。比較的新しい葵祭と同様に行列が主体となる祭ですが、明治維新から平安時代へと遡る各時代の風物風俗絵巻が繰り広げられます。朝九時に神幸列と神饌講社の行列が、平安神宮から京都御所へ、そして正午にハイライトの時代行列が御所建礼門を出発します。錦の御旗の維新勳皇隊が先頭で笛太鼓を鳴り響かせ、「ピヤラドンドン」と足並

み揃え列を崩さぬ見事な行進、徳川城使上洛の列、豊公参朝の列、織田公上洛の列、楠公上洛の列、また江戸・中世・平安時代の婦人列、巷では姿が見られなくなった大原女・桂女・白川女の行列も圧巻。これらの時代行列は建礼門前から烏丸太町、烏丸御池通、川端通り、三条通り、神宮通りを通って、午後三時ごろに平安神宮に入ります。この千年に亘る各時代の衣装は、日本の風俗史の資料としての価値が高く平安神宮の神門に入った西側の時代風俗間に収蔵されています。日本の大切な文化遺産の三大祭を見に、是非一度京都にお越しやす。

歴史

田舎過ぎた

大泉学園 加藤 勇

「幻の大泉学園」(大学がないのに「大泉学園駅」と言われている由来等)を興味深く読ませていただきました。

地図を眺めるとこの区画だけが整然と道路が入っており、ここは、堤康次郎が一九一八年に軽井沢、一九九一年に箱根の開発に着手し、二〇〇年に箱根土地(株)を設立、二三年の関東大震災を契機とし、箱根土地(株)が東京の郊外

に大泉学園と言う一大学園都市を開発しようと計画したところである。当時、区画の土地は坪十円であり、村山貯水池で遊んだ残金で買ったとも言われている。

堤康次郎は、大泉学園(大泉村五〇万坪)国分寺学園都市(小平村六〇万坪)、国立学園都市(公保村八〇万坪)の大規模開発を同時に着手する。理想的な大学都市は、理想的な高尚な住宅地に囲まれてこそ実現できるという。長野で行われた冬季五輪の際も、北海道、岩手、長野とプリンスホテルの

ある地域を候補地に挙げていた堤義明の手法は、親父の帝王学から自得したのか親父そっくりの手法に見える。

結局、一橋は国立学園地区に、津田塾は国分寺学園地区に設立されたが、理由は一橋も津田塾も聖心も大泉学園地区があまりにも田舎過ぎると言うことで来てくれなかったそうだ。その候補地は、バス停の「住宅前」近くだったらしいが誰か教えてください。

大泉学園都市の土地分譲に関しては、東京朝日の広告によると、水谷八重子等出演による舞踊大会、野球大会、乗馬競技会等大イベントを行い、PRに努めていた様子がうかがえる。

最後に、国立学園小学校の創設者は堤康次郎である。国立学園小から武蔵中・高を経て東大に入る人もいるという。堤の西武系と根津の東武系を經由する面白いルートだ。堤義明は、西武鉄道グループの元オーナーで、康次郎の息子である。



俳壇「あおい」

葵にて
小さな秋を秋いけり

栗飯を
食へつ思う故郷かな

相田美代子